

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アソベル磐田		
○保護者評価実施期間	7年 12月 23日		8年 1月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	7年 12月 23日		8年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	8年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動特に長期休み・祝日は社会に出て様々な体験を通し経験を積みます。また様々な人々に出会って交流していきます。	公共交通機関の利用を繰り返すことで乗車の仕方(切符購入・改札・乗車・車内でのマナー・降車方法)を知り、慣れる事で自信に繋がります。また公園等で一般の方(子ども～大人)との交流の中で健常の方々にもっと障害について知り・触れ合ってもらえればと会話・交流が出来れば良いなあと感じます。	障害についてなかなか理解されない事を感じる場面も少なくないのが現状です。様々な場面に出ていき交流し続けていくことも大切な事だと感じています。事業所の児童たちにもマナーやルールを守り、自信を持って社会と繋がっていけるようそのような場を設けていきます。
2	少人数の為、個々の課題にアプローチしやすいです。	トイレトレーニングをしていきたい、歯磨きが苦手、ADLを身につけたい、宿題をしっかりと取り組ませたい等個々の持つ課題やご家庭の要望に取り組んでいます。高等部卒業後、就労に向け何が必要なのか・・・これもそれぞれの力の違いや行く先の希望により違いがあると思います。そこへ向けて必要な力をつけられるよう取り組んでいます。	プログラミングや絵画・音楽・ダンス等様々なプログラムを取り入れることで子ども達の“好き”が見つかり、趣味や仕事に活かせるように取り組んでいきたいです。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全員で集団としての活動がなかなか難しいです。	子ども達個々の特性により集団活動に常に入れる児童ばかりではない為。	少しでも良いので全体集団に参加できるよう声掛け、機会を設けて活動していきたいです。
2			
3			